

## サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く「2010 年冬のボーナスと家計の実態調査」

**ボーナス額「増えた」33.8%（昨冬比 13.4 ポイント上昇）、でも使い道は「貯金」！****平均手取金額は昨冬と同額の 62.1 万円****主婦の“へそくり”減少、家計赤字の穴埋めに。平均額は 308.3 万円（昨冬比 66.0 万円減）****家計のキャッシュフロー「減った」(29.8%)で、“儉約していない”主婦も儉約主婦へ！****臨時ボーナスあげたい金額、鈴木章/根岸英一 1,992 万円、石川遼 603 万円。**

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社（社長：澁谷達雄）は、全国の 20～50 代のサラリーマン世帯の主婦 500 名（各年代毎 125 名 平均年齢 39.7 歳）を対象に、「2010 年冬のボーナスと家計の実態」をテーマとしたアンケートを、2010 年 12 月 10 日（金）～14 日（火）に実施いたしました。

今回の調査では、ボーナスの手取金額が「増えた」（昨冬 20.4%→今回 33.8%）、「減った」（53.8%→31.4%）と昨冬比で大幅な回復が見られたものの、平均手取額は調査開始以来最低だった昨冬と同額の 62.1 万円に横這いとなっています。また、ボーナスの使い道は例年通りトップは「預貯金」でしたが、比率が 70.6%と冬の調査で最高となり、「守り」の姿勢が一層強まっているようです。背景には、家計の現状認識が「苦しい」（61.0%）こともあるようです。また、昨年の各家庭の金融資産の増減を調査したところ、「減った」（29.8%/平均△121.9 万円）が「増えた」（24.4%/平均 112.1 万円）を上回り、主婦のへそくりも昨冬平均を 66 万円下回り、所持平均が 308.3 万円と目減りしています。減った理由トップは「家計赤字の穴うめに使った」（24.2%→37.0%）で、主婦の聖域にも家計の厳しさの影響が垣間見えます。現状への対策として、約 7 割の主婦が「儉約している」と回答。そのほぼ全員が「2011 年も儉約生活を続ける！」と意気込みを新たにしています。一方、「儉約をしていない」と回答した主婦でも 5 割強が「今年は儉約生活をする」としており、家計が足踏みする中、“消費スタイルの見直しは待たなし”の状態のようです。

昨年、最も家計に影響を与えたことに「野菜の高騰」をあげ、今年は「食費の節約」重視の姿勢です。また、2 年連続で節約食材に選ばれた「もやし」や「豆腐」の活用を検討し、支出のコントロール力を向上させているようです。

第 21 回損保ジャパン DIY 生命アンケート「2010 年冬のボーナスと家計の実態調査」の結果概要は以下となります。

## 《「2010 年冬のボーナスと家計の実態調査」の主な結果》

## &lt;2010 年冬のボーナス&gt;

- 冬のボーナス「増えた」は 33.8%、「減った」は 31.4%。平均手取額は 62.1 万円（昨冬と同額）。
- ボーナスの使い道トップは「預貯金」（70.6%）。妻の年代《20 代～30 代》は 82.4%が預貯金と回答！
- ボーナスから夫に渡した小遣い平均額は 6.9 万円で昨冬減額も、“渡す”主婦は微増（52.6%→58.0%）。
- この冬臨時ボーナスをあげたい人は 3 年連続「石川遼」、金額トップは「鈴木章/根岸英一」で 1,992 万円！
- 主婦が詠む冬のボーナス川柳「ボーナスが 減るのに増える 教育費」など、やりくりの大変さにじむ。

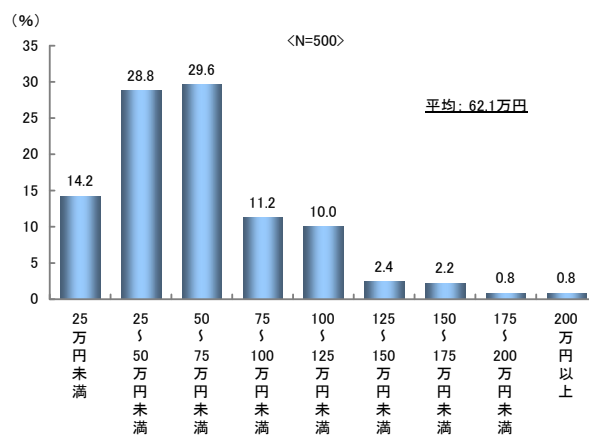
## &lt;家計の現状/わが家の生活防衛策&gt;

- 家計が「苦しい」（63.2%→61.0%）、今後の見通し「厳しくなる」（46.0%→44.0%）と、わずかに改善。しかし、3 年連続で「苦しい」が 6 割超となり、依然として家計の厳しさや先行きの不安感は大い。
- わが家のキャッシュフローは「減った」（29.8%）が「増えた」（24.4%）を上回り、支出超過の傾向。
- 儉約している主婦は 67.6%。“儉約していない”主婦の半数も「今年は儉約！」宣言。
- 2011 年は「食費」節約で、節約食材は 2 年連続で「もやし」がトップ。「レジャー費」は増やしたい！
- わが家独自（ガラパゴス的）の節約法は「牛乳パックをまな板にする」、「割り箸を洗って再利用する」など。
- 付録付きの雑誌は、《20 代》「家計費の節約」、《30 代》「プチ贅沢」と世代間に意識の差。
- 夫に内緒の資産（へそくり）所持平均額は、308.3 万円（所持率 43.4%）。最高額は 3,500 万円。

## 《 2010 年冬のボーナス 》

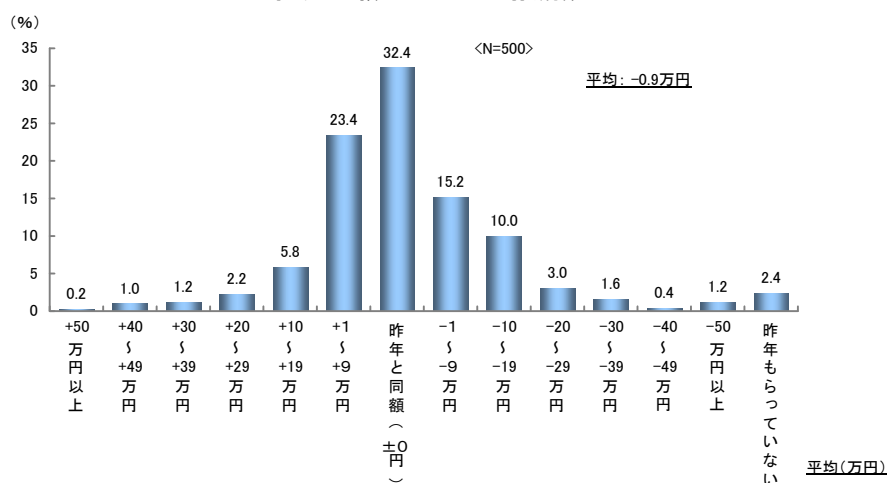
平均手取額は、62.1 万円と昨冬の調査開始以来最低額から変わらず。ボーナス“増えた”(昨冬 20.4%→33.8%)、“減った”(53.8%→31.4%)と回復が見られるが、増減平均は、－0.9 万円と増額には至らず。

2010 年冬のボーナス手取額



サラリーマン世帯の主婦に夫が受け取った冬のボーナスの手取り額を聞きました。平均金額は調査以来最低となった昨冬と同額の 62.1 万円で横這いとなりました。「50～75 万円未満」(29.6%)と「25～50 万円未満」(28.8%)が約 3 割ずつと多く、以下、「25 万円未満」(14.2%)、「75～100 万円未満」(11.2%)、「100～125 万円未満」(10.0%)となっています。

昨冬と比較したボーナス増減額



妻の年代	20 代 <n=125>	-	-	-	2.4	6.4	30.4	34.4	15.2	4.0	0.8	0.8	-	-	5.6	1.3
	30 代 <n=125>	-	0.8	0.8	0.8	6.4	25.6	29.6	18.4	8.0	3.2	1.6	0.8	1.6	2.4	-1.7
	40 代 <n=125>	-	1.6	0.8	3.2	7.2	22.4	32.8	16.8	12.0	1.6	1.6	-	-	-	0.4
	50 代 <n=125>	0.8	1.6	3.2	2.4	3.2	15.2	32.8	10.4	16.0	6.4	2.4	0.8	3.2	1.6	-3.4

さらに、昨冬のボーナスに対する増減を聞いたところ、“増えた”が 33.8%で、“減った”が 31.4%となっており、わずかながら“増えた”が上回る結果となりましたが、増減額の平均は「-0.9 万円」となり増額には至りませんでした。

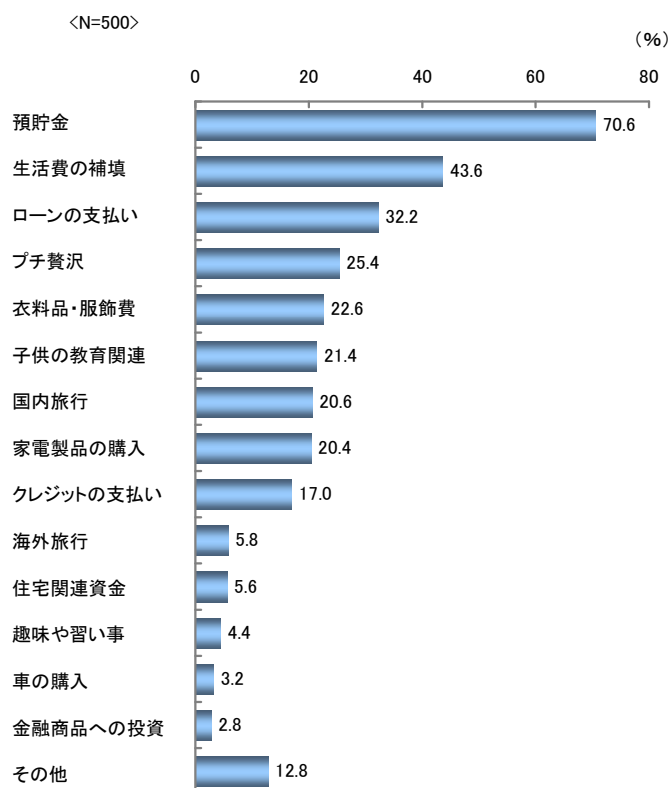
妻の年代別にみると、《50 代》が－3.4 万円であるのに対して、《20 代》は+1.3 万円であり、《50 代》が最も厳しい状況となっています。

昨冬の調査結果と比較すると、“増えた”(20.4%→33.8%)、“減った”(53.8%→31.4%)、と大幅に回復しており、増減の平均も(－8.3 万円→－0.9 万円)と、昨冬の大幅減額に比べると改善がみられます。しかし、平均で見るとわずかなマイナスであり、調査開始以来最低だった昨冬の水準にとどまりました。

## 《 ボーナスの使い道 》

ボーナスの使い道トップ3は、①「預貯金」(70.6%)②「生活費の補填」(43.6%)③「ローンの支払い」(32.2%)。「預貯金」は冬調査で過去最高比率となり、“守り”の姿勢鮮明に。

この冬のボーナスの主な使い道(複数回答)

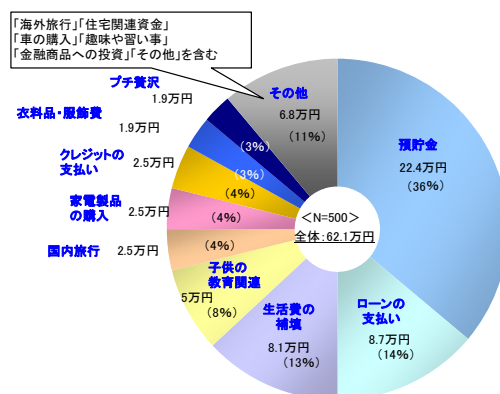


主な使い道(年代別)

(%)

	全 体	妻の年代			
		20 代	30 代	40 代	50 代
サンプル数	500	125	125	125	125
預貯金	70.6	88.8	76.0	60.8	56.8
生活費の補填	43.6	31.2	40.0	52.0	51.2
ローンの支払い	32.2	24.0	31.2	33.6	40.0
プチ贅沢	25.4	29.6	31.2	20.8	20.0
衣料品・服飾費	22.6	21.6	28.8	22.4	17.6

ボーナスの主な使い道が総額に占める割合  
(この冬のボーナス平均手取額 62.1 万円を総額とし、金額に換算)



ボーナスの使い道は、「預貯金」(70.6%)、「生活費の補填」(43.6%)、「ローンの支払い」(32.2%)がトップ3となり、“将来への備え”や“家計のやりくり”優先という状況が続く結果となりました。

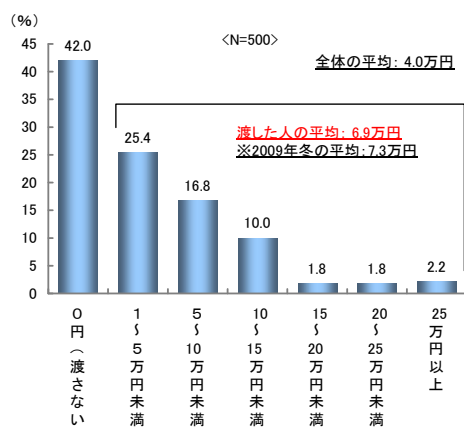
特に「預貯金」は、過去の冬調査で最も高い比率となっています。

「生活費の補填」(47.2%→43.6%)、「ローンの支払い」(33.8%→32.2%)は減少する一方で、“プチ贅沢”(21.2%→25.4%)“衣料品・服飾費”(19.0%→22.6%)に増加が見られました。

## 《 ボーナスから夫に渡した小遣い 》

ボーナスから夫に渡した小遣い平均額は 6.9 万円と昨冬の 7.3 万円より微減。  
一方で、夫に小遣い「渡さない(0 円)」(47.4%→42.0%)主婦は減少。

ボーナスから夫に渡した小遣い



ボーナスの中から夫に渡した小遣いの額を聞いたところ、渡した人の平均は 6.9 万円と、昨冬の 7.3 万円から減少しています。しかしながら、小遣いを「渡さない(0 円)」(47.4%→42.0%)は、昨冬より減少しています。

小遣いを渡す金額は減ったものの、小遣いを渡す主婦の増加によって、懐が少しはあたたかくなった夫が増えたようです。

《 臨時ボーナスをあげたい人とその金額 》

主婦が臨時ボーナスあげたい人トップは「石川遼」。金額ベースでは、ノーベル賞受賞の「鈴木章/根岸英一」が渡したい平均金額 1,992 万円でトップ。

2010 後半 臨時ボーナスをあげたいと思う人(票数)

順位		得票数
1	石川遼	55
2	嵐	41
3	斉藤佑樹	24
4	渡部陽一	22
5	福山雅治	17
6	浅田真央	16
7	イチロー	14
8	AKB48	12
	高橋大輔	12
10	村上佳菜子	11
-	自分	6

2010 後半 臨時ボーナスをあげたいと思う人(金額)

順位		金額(万円)
1	鈴木章/根岸英一	1,992
2	イチロー	1,007
3	高橋大輔	647
4	福山雅治	633
5	石川遼	603
6	斉藤佑樹	562
7	浅田真央	383
8	白鵬	357
9	池上彰	330
10	女子バレー	318
-	自分	47

主婦が臨時ボーナスをあげたいと思う人と、その金額を聞きました。

票数ベースでは、3 年連続「石川遼」(55 票)がトップとなり、主婦からの厚い支持を集めています。2 位以下は、「嵐」(41 票)、「斉藤佑樹」(24 票)となっています。一方、渡したい金額でランキングをつけたところ、トップにはノーベル賞を受賞した「鈴木章/根岸英一」(1,992 万円)、次いで「イチロー」(1,007 万円)、「高橋大輔」(647 万円)と、主婦は「世界に認められる偉業を成した人物」に高額なボーナスをあげたいと思っているようです。ちなみに、「自分」は平均金額 47 万円と、控えめに見積もっています。

《 主婦が詠むボーナス川柳 》

「ボーナスが 減るのに増える 教育費」、「熟年の 会話をつなぐ ボーナス日」など様々。内容は、“家計のやりくりの大変さ”を詠んだものが多い。

冬のボーナスを受け取った時の気持ちを題材に、家計を預かる主婦に「川柳」を作ってもらいました。

川柳に詠まれた主な内容は、「家計のやりくりの大変さ」(94 件)を詠んだものが非常に多く、次いで「ボーナスの額を見てガッカリした気持ち」(60 件)、「ボーナスが出ただけマシ」「使い道は貯蓄が最優先」(21 件)などを表現した主婦も多くいました。

主婦が詠むボーナス川柳

<p>【家計のやりくりの大変さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスが 作る笑顔は 一週間</li> <li>・ボーナスを 貰った気がした 昨日だけ</li> <li>・ボーナスを 出産費用に 充てる冬</li> <li>・マイホーム ボーナス完食 まだ足りず</li> <li>・ボーナスが 減るのに増える 教育費</li> </ul> <p>【ボーナスの額を見てガッカリした気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスは 旦那のメタボと 反比例</li> <li>・ボーナスか 月給よりも 少ないぞ</li> </ul> <p>【ボーナスが出ただけマシ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスが 出ただけうれし 年越しに</li> </ul> <p>【使い道は貯蓄が最優先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予期しない ボーナス額に まず貯金</li> <li>・ボーナスは 有無を言わず 貯金する</li> </ul> <p>【ボーナスに期待していない】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスは 今年もまったく 期待せず</li> <li>・ボーナスに 期待なくなり ここ数年</li> <li>・ボーナスは あてにできない しばらくは</li> </ul>	<p>【ボーナスの額を見て喜んだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナス日 思わず小躍り 額上昇</li> <li>・ボーナスが 増えて心も ぽっかぽか</li> </ul> <p>【夫への感謝の気持ち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスを もらえる旦那で よかったな</li> <li>・期待より ちよっと多くて 感謝した</li> <li>・ボーナス日 夫のがんばり 実を結ぶ</li> </ul> <p>【今後のボーナスが不安】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスが もらえなくなったら 別れよう</li> </ul> <p>【控除が高すぎる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支給額 ぬかよこびの 控除額</li> </ul> <p>【今後のボーナスアップへの祈り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボーナスで 贅沢できる日 いつ来るか</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減り続け 急に増えても 紐緩まず</li> <li>・ボーナスで 買いたい物は 子の将来</li> <li>・熟年の 会話をつなぐ ボーナス日</li> </ul>
--	--

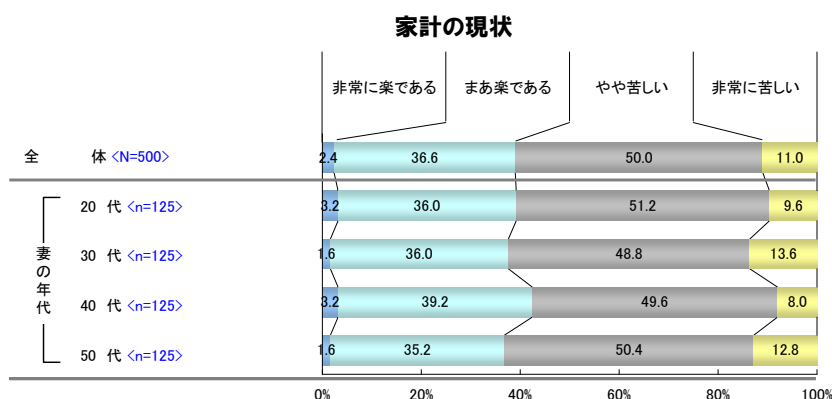
川柳に詠まれた主な内容

順位		件数
1	家計のやりくりの大変さ	94
2	ボーナスの額を見てガッカリした気持ち	60
3	ボーナスが出ただけマシ	21
	使い道は貯蓄が最優先	21
5	ボーナスが出たことへの感謝	18
6	ボーナスに期待していない	17
7	ボーナスの額を見て喜んだ	11
	夫への感謝の気持ち	11
9	今後のボーナスが不安	9
10	使い道は旅行や食事	5

## 《 家計の現状と今後の見通し 》

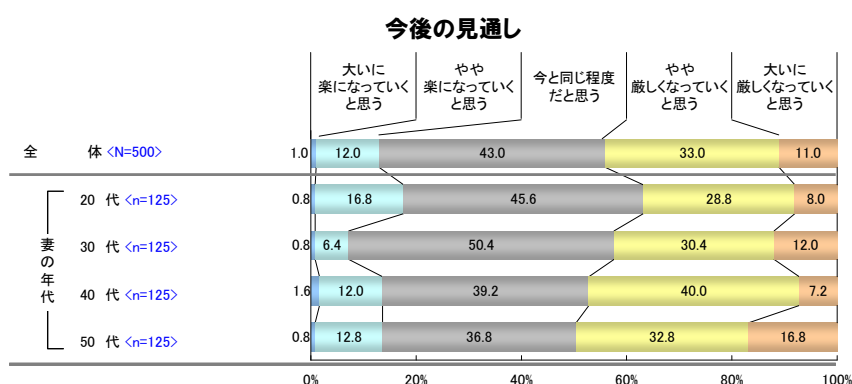
家計の現状“苦しい”(61.0%)は3年連続6割超。今後の見通しも“厳しくなっていくと思う”(44.0%)。

※“苦しい”は、「やや苦しい」「非常に苦しい」の合計、“楽である”は、「まあ楽である」「非常に楽である」の合計を表します。



家計についての認識を聞いたところ、“苦しい”(61.0%)が6割を超え、依然として家計は苦しい状況が続いているようです。

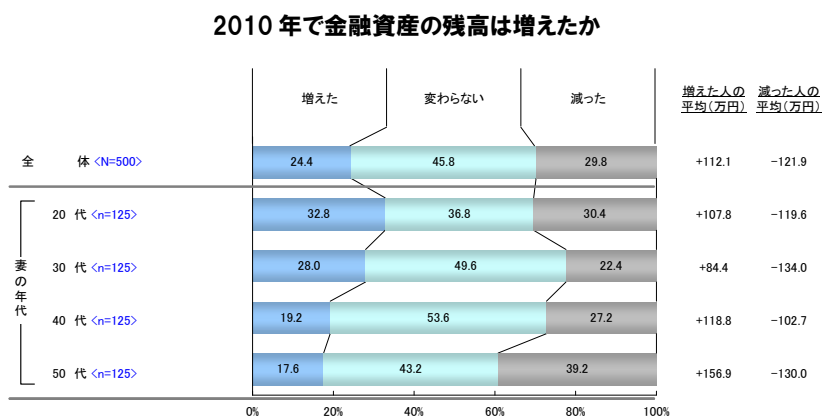
今後の見通しに関しても、“厳しくなっていく”(44.0%)が4割強と、主婦目線での先行き不安感は大いようです。



妻の年代別で比較すると、最も家計が苦しい上に見通しも厳しいと感じている世代は《50代》(苦しい/63.2%)(厳しくなっていく/49.6%)です。現状にも先行きにも悲観的な見方をしているようです。

## 《 わが家のキャッシュフロー 》

「減った」(29.8%)が「増えた」(24.4%)を若干上回る。「減った」人の平均減少額は121.9万円。



2010年で「金融資産の残高」※に増減があったかを聞いたところ、「変わらない」(45.8%)という回答が多く半数近くを占めていますが、「減った」(29.8%)が「増えた」(24.4%)を少し上回り、ここからも家計の足踏み状況がうかがえます。

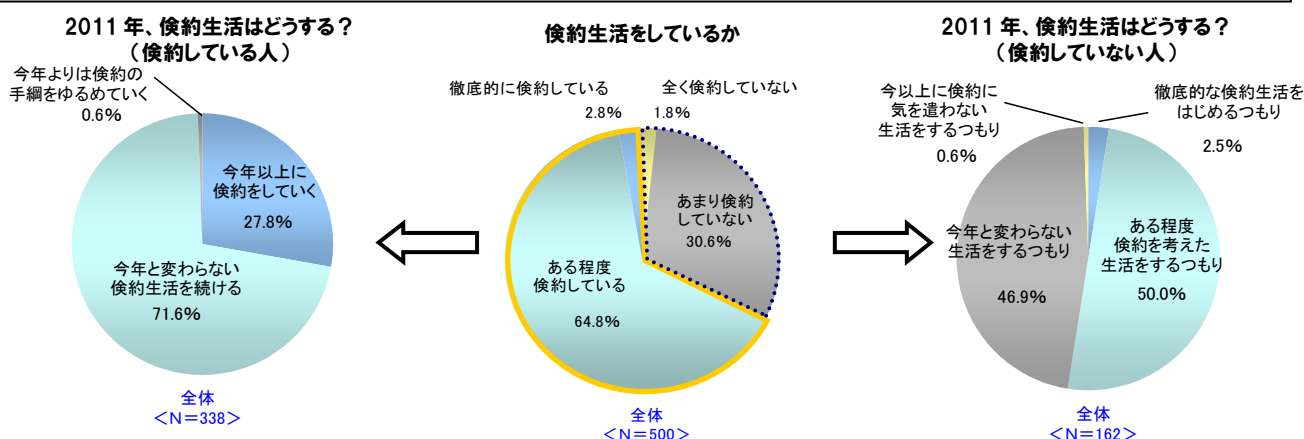
なお、増減額を見ると「減った」人の平均減少額は121.9万円、「増えた」人の平均増加額は112.1万円となり、こちらも「減った」人の痛手が深いようです。

妻の年代別では、《50代》の「減った」が39.2%と最も高くなっています。

※金融資産の残高：預貯金や運用などを合わせた資産で、不動産や夫に内緒の資産は含みません。

## 《主婦の節約意識》

家計費節約のために“節約している”主婦は約7割。“節約していない”主婦も半数以上が“2011年は節約”宣言。



家計費節約のために、節約生活をしているかどうかを聞いたところ、“節約している”（67.6%）が約7割と、多くの主婦が節約を意識した生活を送っていることが明らかになりました。

“節約している”と回答した主婦に、2011年の節約生活はどうするつもりか聞いたところ、“今年も節約をする”と99.4%が回答し、ほぼすべての主婦が節約生活を続ける決意をしているようです。“節約していない”と回答した主婦も、半数以上が新たに“節約を考えた生活をする”と回答しています。

“節約疲れ”という言葉もありましたが、家計が足踏みの状態では、節約疲れなど感じてられないようです。

## 《2011年の節約意識/わが家独自（ガラパゴス的）節約法》

2011年は食費節約！節約食材「もやし」や、「牛乳パックをまな板にする」などガラパゴス化したような独特の節約法で家計を乗り切る！

2011年、節約しようと考えているもの			2011年、支出を増やそうと考えているもの			節約のために取り入れたい食材			ガラパゴス化したような独特の節約法		
順位		件数	順位		件数	順位		件数	順位		件数
1	食費	229	1	レジャー費や旅費	121	1	もやし	233	1	牛乳パックをまな板にする	16
2	外食費	60	2	家電	62	2	豆腐	80	2	割り箸を洗って再利用する	12
3	服飾費	45	3	教育費	46	3	きのこ	43	3	古着などを雑巾に再利用する	9
4	光熱費	41	4	住宅関連	34	4	鶏肉	37	4	ビニール袋や古新聞を生ごみ入れにする	5
5	交際費	40	5	子供にかかるお金	15	5	おから	19		牛乳パックを踏み台や椅子にする	5
6	趣味に使うお金	35	6	服飾費	13	6	納豆	16	6	ティッシュは半分に切って使用する	4
7	お菓子やたばこなど嗜好品	18	7	自分の小遣い	12	7	豚肉	15			
8	レジャー費や旅費	17	8	車	11	8	野菜	13			
9	夫の小遣い	10		趣味に使うお金	11	9	ひき肉	12			
10	自分の小遣い	6	10	外食	9	10	こんにゃく	11			

2011年、節約しようと考えているものを自由にあげてもらったところ、圧倒的に多かったのが「食費」（229件）、次いで「外食費」（60件）でした。2011年は食関連の支出を抑えようと考えている主婦が多いようです。

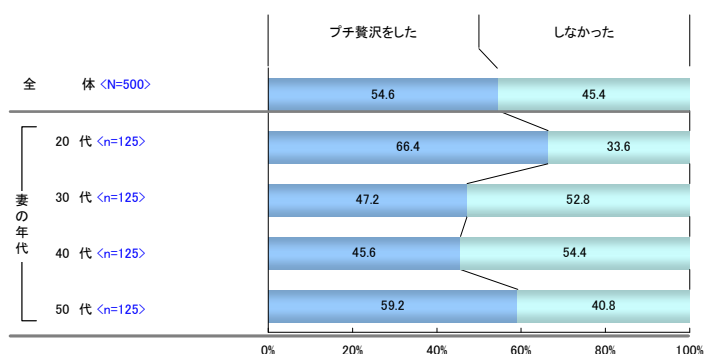
節約のために取り入れたい食材には、「もやし」「豆腐」「きのこ」などヘルシーで食べ応えがある食材がランクインし、食材をうまく活用して節約をしようとしているようです。一方で、2010年より支出を増やしたいと考えているものは、「レジャー費や旅費」（121件）が最も多くなりました。節約生活を意識している主婦が多い反面、レジャー・旅行を楽しみたいという願望が強くなっているのかもしれません。

ガラパゴス化した、わが家独特の節約法については、「牛乳パックをまな板にする」（16件）、「割り箸を洗って再利用する」（12件）など、“ものを最後まで使い切る！”という意識が感じられます。

## 《 プチ贅沢と節約に対する意識 》

この半年間にプチ贅沢を「した」は 54.6%。とくに 20 代は 66.4%と年代別でトップ。  
近年ブームの付録付き雑誌への意識は、《30 代》は“プチ贅沢”、《20 代》は“節約”と意識の差。

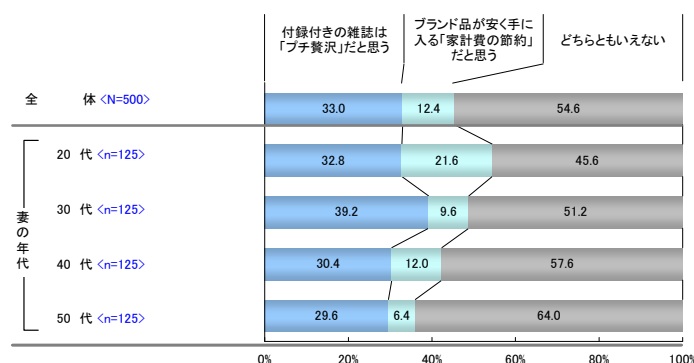
この半年でプチ贅沢をしたか



この半年間にプチ贅沢をしたかを聞いたところ、半数を超える人が「プチ贅沢をした」(54.6%)と回答しました。

妻の年代別に見ると、「プチ贅沢をした」が多い世代は、《20 代》(66.4%)と《50 代》(59.2%)でした。一方、《30 代》(47.2%)と《40 代》(45.6%)は 5 割に満たない数値となりました。

付録付き雑誌についての意識



一番嬉しかった雑誌の付録(自由回答)

順位		件数
1	バッグ・かばん	107
2	ポーチ	21
3	美顔ローラー	11
4	シリコン鍋	7
5	化粧品のサンプル	6
6	手帳	5
	カードケース・財布	5
8	カレンダー	3
	靴下	3
10	鏡	2

また、近年付録付き雑誌がブームになっていますが、付録付き雑誌の購入経験を聞いたところ、「購入したことがある」主婦は 42.8%と 4 割を超える結果となりました。

さらに、付録付き雑誌に対する意識を聞いたところ、全世代で「プチ贅沢」だと思う回答が多くなっていますが、《20 代》では、「家計費の節約」だと思う(21.6%)との回答も 2 割強となっており、世代間によって意識の差があるようです。

## 《 2010 年家計に影響を及ぼしたもの 》

2010 年、家計に最も影響を及ぼしたのは「野菜の高騰」。

2010 年、最も家計に影響を及ぼしたもの

順位		件数
1	野菜の高騰	141
2	猛暑による光熱費の増加	79
3	たばこの値上げ	36
4	進学などによる教育費の増加	32
5	エコポイント	24

2010 年、家計に最も影響を及ぼしたものを聞いたところ、トップは「野菜の高騰」(141 件)となりました。

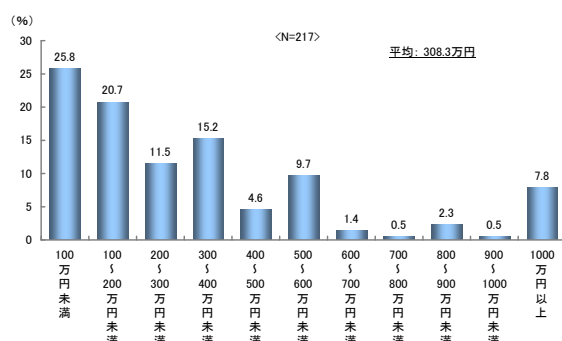
今年の節約対象トップは食費という調査結果が出ていることから、食品類の価格高騰は家計にとって手痛い出費となっているようです。



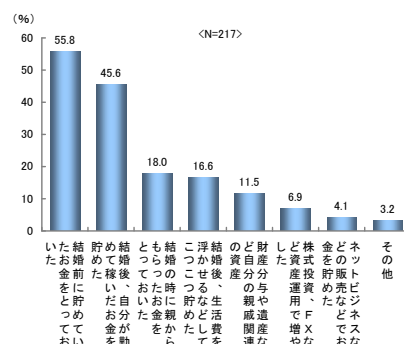
## 《 夫に内緒の資産(へそくり)に関して 》

夫に内緒の資産(へそくり)が「ある」は 43.4%。平均額は 308.3 万円で最高金額は 3,500 万円。  
2010 年でへそくりは「減った」(37.3%)と、家計の赤字穴うめの影響大きく。

夫に内緒の資産(へそくり)がある人の平均金額

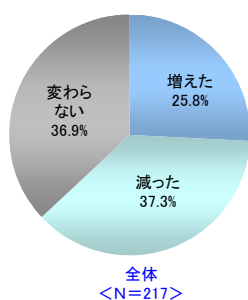


夫に内緒の資産を得た方法

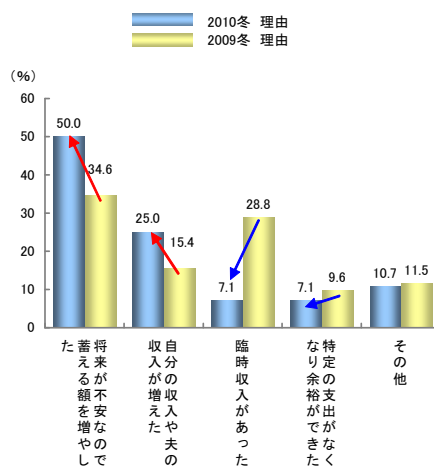


『夫に内緒の資産』の保有状況を聞いたところ、4 割を超える主婦が「ある」(43.4%)と回答していますが、昨冬の 46.8%から 3.4 ポイント落ち込む結果となりました。持っている人の平均金額も、374.3 万円から 308.3 万円と 66.0 万円もの落ち込みとなりました。

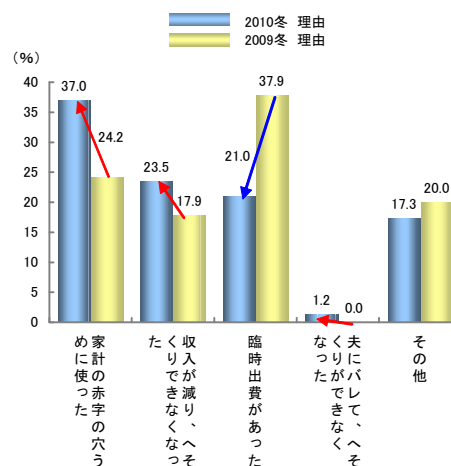
2010 年に入ってから  
へそくりの増減



増えた理由



減った理由



夫に内緒の資産を持つ目的

順位	目的	件数
1	老後の備え	62
2	何かあった時の備え	51
3	趣味や買い物など、自分のために使う	27
4	子供のため(教育費、結婚資金など)	23
5	家や車の購入資金	9
	離婚時の備え	9

2010 年に入ってから『夫に内緒の資産』の増減を聞いたところ「減った」(37.3%)が約 4 割を占めています。昨冬との比較では、「増えた」(22.2%→25.8%)が少し増加し、「減った」(40.6%→37.3%)は若干減少しています。

しかし、増加理由の背景には「将来が不安なので蓄える額を増やした」(34.6%→50.0%)が大幅に増加していることがあげられます。一方、減少理由には「家計の赤字の穴うめに使った」(24.2%→37.0%)、「収入が減り、へそくりできなくなった」(17.9%→23.5%)が増加しており、家計の収支バランスが崩れている様子が見えます。

なお、「臨時出費があった」(37.9%→21.0%)、「臨時収入があった」(28.8%→7.1%)はともに減少しています。さらに、夫に内緒の資産を持つ目的を聞いたところ、「老後の備え」(62 件)、「何かあった時の備え」(51 件)の回答が多く、ボーナスの使い道でも「預貯金」が突出するように、まだまだ不透明な先行きに対しての備えとして増やしている傾向が見られる結果となりました。



【参考】サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く『ボーナスと家計の実態調査』過去推移

年 〈夏〉	夏調査																	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し			臨時ボーナス を あげたい人 (最多回答)	
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+なく なると思 う	変わら ない	平均所 持率	持っ てい る人 の平 均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	67.1	23.4%	53.0%														主人	23票
2004	65.8	38.4%	27.6%	30.4%	32.6%	28.0%				4.0	17.6%						自分自身	68票
2005	76.2	43.2%	20.4%				43.6%	230.2	2,000 (3名)			46.4%	53.6%				サッカー日本代表	96票
2006	77.8	49.8%	17.4%				55.2%	313.2	3,000			45.8%	54.2%				荒川静香	68票
2007	77.9	49.2%	20.2%				45.2%	267.9	3,000	7.3	23.6%	49.2%	50.8%	19.8%	45.6%	34.6%	石川遼	58票
2008	75.3	37.0%	26.0%	30.8%	32.6%	36.6%	41.0%	356.3	4,000	12.3	41.6%	45.4%	54.6%	15.2%	46.4%	38.4%	エド・はるみ	38票
2009	65.5	20.6%	53.6%	25.6%	40.8%	33.6%	34.8%	337.2	4,000	9.8	48.0%	38.4%	61.6%	12.2%	50.0%	37.8%	イチロー	107票
2010	67.0	40.8%	28.4%	37.0%	29.8%	33.2%	45.0%	364.5	5,000	8.6	48.6%	44.2%	55.8%	15.6%	40.8%	43.6%	嵐	45票

注①：03年冬のみ、夫の小遣いは「ボーナスの中で、自由に使える夫の小遣い」、その他の年は「ボーナスの中から夫に渡した小遣い」

年 〈冬〉	冬調査																	票数
	ボーナス			ボーナスの今後の見通し			へそくり			夫の小遣い		家計の苦しさ		家計の今後の見通し			臨時ボーナス を あげたい人 (最多回答)	
	平均 手取り (万円)	増えた	減った	増える	減る+な く な る と 思 う	変わ ら な い	平均所 持率	持っ てい る人 の平 均 (万円)	最高 金額 (万円)	渡した人 の平均 (万円)	小遣い なしの 割合	楽で ある	苦しい	楽に なる	厳しく なる	今と 同程度		
2003	66.9	24.2%	53.0%	28.4%	39.4%	22.4%				5.3	19.0%	8.4%	50.8%				松井秀喜	76票
2004	68.8	37.6%	30.8%									15.4%	42.6%				イチロー	58票
2005	69.5	39.4%	26.0%				45.6%	241.3	2,000 (2名)			43.6%	56.4%				レイザーラモンHG	50票
2006	69.3	40.8%	21.6%				49.0%	306.3	3,500	8.8	27.6%	47.0%	53.0%				新庄剛志	49票
2007	66.6	36.8%	24.2%				43.0%	245.0	2,000	7.4	19.0%	43.2%	56.8%	16.2%	43.0%	40.8%	小島よしお	119票
2008	70.5	29.0%	34.6%	21.2%	49.6%	29.2%	42.0%	461.3	4,000 (2名)	11.1	37.4%	38.2%	61.8%	9.2%	59.8%	31.0%	石川遼	88票
2009	62.1	20.4%	53.8%	23.4%	41.0%	35.6%	46.8%	374.3	1億	7.3	47.4%	36.8%	63.2%	11.4%	46.0%	42.6%	石川遼	92票
2010	62.1	33.8%	31.4%	29.6%	33.8%	36.6%	43.4%	308.3	3,500	6.9	42.0%	39.0%	61.0%	13.0%	44.0%	43.0%	石川遼	55票

注②：家計の苦しさに関する質問は05年冬より「変わらない」は削除。「変わらない」03年(40.8%)、04年(42.0%)

年	夏調査										
	主な使い道										
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位	金額 換算
2003	生活費の補填	51.2%		預貯金など貯蓄	47.0%		ローン・クレジットの支払い	41.2%		国内旅行	28.8%
2004	預貯金など貯蓄	56.2%		ローン・クレジットの支払い	38.6%		生活費の補填	37.8%		国内旅行	22.0%
2005	預貯金など貯蓄	53.6%		ローン・クレジットの支払い	37.0%		生活費の補填	31.4%		国内旅行	29.6%
2006	預貯金など貯蓄	55.2%		ローン・クレジットの支払い	35.8%		生活費の補填	33.4%		国内旅行・帰省	28.0%
2007	預貯金など貯蓄	58.6%		ローン・クレジットの支払い	37.8%		生活費の補填	33.0%		国内旅行・帰省	30.4%
2008	預貯金など貯蓄	55.8%		生活費の補填	36.4%		ローン・クレジットの支払い	33.2%		子供の教育関連	25.0%
2009	預貯金など貯蓄	51.6%		生活費の補填	35.4%		ローン・クレジットの支払い	31.2%		国内旅行・帰省	22.2%
2010	預貯金など貯蓄	74.2%	26.7万円	生活費の補填	39.6%	7.5万円	ローンの支払い	37.6%	11.2万円	プチ贅沢	28.4%

注③：主な使い道に関する質問は10年夏より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

年	冬調査										
	主な使い道										
	1位		金額 換算	2位		金額 換算	3位		金額 換算	4位	金額 換算
2003											
2004	預貯金など貯蓄	53.4%		生活費の補填	40.8%		ローン・クレジットの支払い	39.8%		国内旅行・帰省	23.8%
2005	預貯金など貯蓄	55.2%		生活費の補填	34.6%		ローン・クレジットの支払い	33.0%		国内旅行・帰省	25.8%
2006	預貯金など貯蓄	54.8%		ローン・クレジットの支払い	34.8%		生活費の補填	30.8%		衣料品・服飾費	22.0%
2007	預貯金など貯蓄	60.6%		ローン・クレジットの支払い	32.2%		生活費の補填	30.6%		衣料品・服飾費	23.6%
2008	預貯金など貯蓄	64.2%		生活費の補填	37.4%		ローン・クレジットの支払い	36.0%		家電製品の購入	19.6%
2009	預貯金など貯蓄	68.0%	23.6万円	生活費の補填	47.2%	8.1万円	ローンの支払い	33.8%	9.3万円	国内旅行・帰省	21.4%
2010	預貯金など貯蓄	70.6%	22.4万円	生活費の補填	43.6%	8.1万円	ローンの支払い	32.2%	8.7万円	プチ贅沢	25.4%

注③：主な使い道に関する質問は09年冬より「ローンの支払い」と「クレジットの支払い」に分割

### DIY生命の「4つの約束」

わたしたち損保ジャパンDIY生命は1999年の創業以来、「1年組み立て保険」という独自の商品販売を通じて、“自分の保険は、自分でつくる”、“生命保険は、ライフステージの変化に合わせて見直す”、“生命保険で、貯蓄はしない”というメッセージを発信し続けています。これらは、お客さまに「真にムダのない、合理的な保険をご提供する」というメッセージであり、次に掲げる当社の「4つの約束」に基づいています。

◆お客さまにぴったりあった商品の提供

◆お客さま自らの判断でご加入いただくこと

◆迅速なサービスの提供

◆お客さまとの継続的な関係の構築

わたしたちは、損害保険ジャパングループの「ダイレクト販売専門生命保険会社」として、また「常に先進的な取り組みを目指す会社」として、これからも「4つの約束」のもと、質の高いサービスと安心を提供してまいります。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

**損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社**

広 報 室：杉山、高月 TEL:03-5437-9026